

花火大会検証会議

検証結果報告書（案）

令和6年 月

目 次

はじめに	1
委員名簿等	2
1 検証会議の開催等経過	3
2 議論の経過	5
3 検証結果	11
4 今後の花火大会のあり方について	16
おわりに	17
参考	

は じ め に

福知山市は、「花火大会のあり方を考える会」（以下、「考える会」という。）から提出された提言書を受けて、「花火大会に関する市の考え方」（以下、「市の考え方」という。）を令和6年5月に発表した。

その後、花火大会を主催する実行委員会から、市に対して後援申請があり、市は「市の考え方」に示す要件等を踏まえたうえで、令和6年6月に条件付きで後援承認を行った。承認後、市は「市の考え方」に示している「実行委員会の会議に出席し、助言・指導を行う」、「警察署や消防署等の各関係機関との事故防止対策等にかかる事前協議に出席し、必要な調整を行う」などの対応を行い、安全対策に関与した。

また、「市の考え方」において、花火大会終了後、安全対策の検証や経済効果の分析を行うこととしており、「花火大会検証会議」（以下、「検証会議」という。）は、花火大会の運営や事故防止対策等の検証のほか、経済波及効果の分析に関する事項等について協議を行い、その結果を市長に報告するための機関として、市により、令和6年7月に設置された。

「検証会議」を構成する委員は、雑踏警備等の安全対策や実施団体の責任体制等の専門知識を有する者をはじめ、法律の専門家、地域振興等に取り組む団体の代表者の7名である。

このような経過の中で、令和6年8月に「福知山 HANABI2024」（以下、「花火大会」という。）が開催された。

「検証会議」では、花火大会が安心安全に開催できていたのかを検証するため、花火大会当日に会場周辺において現地検証を実施した。現地検証後、実行委員会や関係機関等に対して確認事項の照会を行い、その回答内容や実行委員会から提出された事業報告書等を踏まえ、花火大会の運営や事故防止対策等が十分に機能していたか、改善すべき点はないかなどについて協議を行った。そのうえで、仮に今後も花火大会が開催されたとした場合、どのような形であるべきかという点についても協議を行った。

その結果をとりまとめ、本報告書のとおり報告する。

※「検証会議」で検証を行った「花火大会」とは、次の花火大会を指すものである。

□行催事名：福知山 HANABI2024

□開催日時：令和6年8月11日（日）

□開催場所：由良川（音無瀬橋）河畔

□主 催 者：福知山 HANABI 実行委員会

令和6年 月 日
花火大会検証会議

[委員名簿]

会 長	浦中	千佳央	[京都産業大学法学部教授（社会安全・警察学研究所所員）]
副会長	国松	治一	[弁護士 国松法律事務所]
委 員	水口	学	[福知山公立大学特任教授（地域防災研究センター長）]
委 員	足立	喜代美	[福知山市子ども・子育て会議委員]
委 員	谷垣	均	[福知山市自治会長運営委員連絡協議会会長]
委 員	樋口	真一	[福知山市商工会副会長]
委 員	横田	将吾	[一般社団法人福知山青年会議所理事長]

[事務局]

福知山市産業政策部産業観光課

1 検証会議の開催等経過

(1) 会議

第1回花火大会検証会議

日時：令和6年7月25日

場所：福知山市防災センター

主たる議題：検証会議の進め方等について

第2回花火大会検証会議

日時：令和6年8月11日

場所：福知山市厚生会館、花火大会会場周辺

主たる内容：現地検証

第3回花火大会検証会議

日時：令和6年8月29日

場所：福知山市厚生会館

主たる議題：現地検証結果のまとめ

第4回花火大会検証会議

日時：令和6年10月29日

場所：福知山市総合福祉会館

主たる議題：現地検証結果（案）の議論、花火大会の今後のあり方の議論

第5回花火大会検証会議

日時：令和6年11月19日

場所：京都府立中丹勤労者福祉会館

主たる議題：検証結果報告書（案）の検討

(2) 会議以外の内容

①市民公募委員の募集

募集期間：令和6年7月26日～8月6日 応募者なし

②現地検証

実施日：令和6年8月11日

実施場所：福知山 HANABI2024 会場周辺

③経済波及効果分析

実施目的：アンケートと産業連関分析を通じて、花火大会の開催が地域経済等に与える経済波及効果を定量的に把握する。

分析機関：株式会社京都総研コンサルティング

④実行委員会への確認事項の照会

対象者：福知山 HANABI 実行委員会

確認事項：8項目

⑤市への確認事項の照会

対象者：福知山市

確認事項：1項目

⑥関係機関への確認事項の照会

対象者：福知山警察署、西日本旅客鉄道株式会社、携帯会社、露店出店者

確認事項：6項目

2 議論の経過

- (1) 花火大会が安心安全に開催できていたのかを検証するため、実行委員会が策定した実施計画書を踏まえてチェックシートを作成し、花火大会当日に現地検証を行った。

【現地検証方法】

①実施日

令和6年8月11日

②実施場所

福知山 HANABI2024 会場周辺

③チェック箇所

ア：各ゲート

イ：堤防天端

ウ：広小路通り

エ：御霊公園

オ：有料観覧席

④評価方法

チェック箇所ごとに設定した項目について3段階で評価

⑤評価基準

A：推 奨（問題なくできている）

B：標 準（可もなく不可もなく標準的にできている）

C：要改善（改善しなければ大きな問題になる可能性がある）

- (2) 現地検証を踏まえて、実行委員会や市、関係機関に対して確認すべき事項があると判断し、それぞれに照会を行った。

① 実行委員会等への主な確認事項

確認事項	実行委員会のスタッフ、特に緑色の蛍光タスキをしていた若い人に対して、活動して良かった点、困った点を確認してほしい。
回答	実行委員会運営本部の警備エリア責任者（リーダー）へのヒアリング結果を共有します。なお、運営本部のメンバー及びボランティアスタッフの中に緑色の蛍光タスキをした者は把握できておりません。 ◆活動して良かった点 ○ゲートでの受付けや客席への案内、露店の営業時間に合わせたお客様の誘導、広小路通りでの駐輪や場所取りへの対応、打上げエリアでの徹底した散水、周辺を自転車で巡回して軒先営業しようとしているところへの迅速な声掛け等、どのエリアも大きな混乱

	やトラブルなく対応できていた。 ○警備計画書で、スタッフひとりひとりに番号を付けて地図に配置が落とし込まれていたため、スムーズにボランティアスタッフに説明できた。 ◆活動して困った点 ○エリアによってトランシーバーが届きにくい、届かないことがあった。 ○ベビーカーはゲートで預かる、客席での椅子の使用は禁止というルールだったがいくつかクレームがあったため、ベビーカーの持ち込みや妊婦等の椅子使用が可能な客席を設定してはどうか。
--	--

確認事項	警備員の配置場所により、警備する内容が異なる。場所によって警備方法が違うと思うが、どのような研修をされたのか。
回答	○警備会社の責任者には、各配置場所での任務内容について説明を重ね、警察との協議の場にも出席して頂くことで、警備計画をしっかりと理解して頂きました。その上で、警備会社は我々よりも警備のプロであることから、警備員の配置や任務内容に応じた研修の実施は警備会社内で行ってもらいました。

確認事項	花火大会後に被害者の方から何かご意見があったのか。
回答	○開催前は、コンタクトの取れた被害者の方から、花火大会の開催に賛成する旨の前向きなご意見を頂戴しました。当日はボランティアに参加された被害者の方が、来年はご主人（被害者）と参加したいと仰っていました。

② 市への確認事項

確認事項	花火大会後に被害者の方から何かご意見があったのか。
回答	○「市の考え方」では、実施後には必ず検証し、安心安全が確保され、規模を拡大しても問題ないと認められた場合のみ、段階的に規模を拡大するものと示している。 ○次回開催で、いきなり以前の規模での実施ではなく、しっかりと段階を踏んで検証していただきたい。

③関係機関への主な確認事項

確認事項	実行委員会の事前指導についての感想。
関係機関	露店出店者
回答	○事前説明会や防火講習によって安全対策への意識が上がり、緊張感を持って営業できた。

確認事項	実際に露店を開店して気づいたこと。
関係機関	露店出店者
回答	○露店前のスペースが狭くて行列が密になっていた。会計と受け取りの2列になっている露店もあり、列が長くなるとどの列がどの店の列なのかがわかりづらく、並び直している人もいた。 ○営業の終了時間が19時40分ということを知らない来場者が多く、一斉に消灯した際に列に並んでいた人がやや混乱していた。

※実行委員会等への確認事項の詳細については、参考資料を参照

(3) 花火大会は「市の考え方」に示す条件を満たしていたかを確認した。

市は「市の考え方」に示す要件等を踏まえたうえで、実行委員会に対して、令和6年6月に条件付きで後援承認を行った。承認後、市は「市の考え方」に示している「実行委員会の会議に出席し、助言・指導を行う」、「警察署や消防署等の各関係機関との事故防止対策等にかかる事前協議に出席し、必要な調整を行う」などの対応を行い、安全対策に関与した。

検証会議では、花火大会が当初の実施計画から逸脱していたことはなかったか、また、「市の考え方」で示している要件等をしっかりと履行していたか否かを検証し、以下のとおり判断した。

項目①	市の関与のあり方について
主な条件	警察署や消防署等の各関係機関との事故防止対策等にかかる事前協議に出席し、必要な調整を行う。
検証会議の判断	市は実行委員会に条件付きで後援を承認した後、実行委員会の会議や関係機関の会議への出席や現場立ち合いに同行するなど、必要な関与を行った。

項目②	主催者について
主な条件	万が一、事故があった場合に備えて、被害者対応のため、対人1名1億円以上の保険に加入していること。
検証会議の判断	実行委員会は万が一事故等が起きた場合に備えて、対人1名1億円の賠償責任保険等の保険に加入した。

項目③	花火大会の規模について
主な条件	花火大会の規模については、小さく始めることを条件とする。警備体制や交通規制の範囲や時間帯等については、開催規模に応じた対策が求められることから、具体的な発数、時間については予算規模や対応できる人員体制を踏まえて、本市を含めた各関係機関と十分な協議・調整を行い決定するものとする。当面は少なくとも周辺の自治体の規模を上回らないこと。
検証会議の判断	打ち揚げ発数は2,000発、打ち揚げ時間は20分間であり、周辺の自治体の規模を上回らない規模での開催であった。 また、警備体制や交通規制の範囲や時間帯等については、実行委員会は関係機関と協議を行い、市民や自治会、観覧者等に周知を図った。

項目④	安全確保対策について
主な条件	◆露店対策 由良川河川敷には、露店を出店させないこと。 ◆雑踏対策 事前に危険個所の点検を行い、重点的に安全対策を講じること。 ◆交通対策 警察署等の各関係機関と事前に協議を行い、交通混雑を抑制するために必要な道路使用許可等を受け、次の対策を講じること。 ◆救護対策 消防警備計画のほか、救護ブースに看護師等を配置するなど、万が一の事故等に備えること。 ◆火災対策 消防署等の各関係機関に必要な届出を行うほか、事前に協議を行い、指導を踏まえて、火災対策として必要な対策を講じること。 ◆自然災害等の対策 国土交通省等の各関係機関と事前に協議を行い、指導を踏まえて、降雨や増水、強風時などの中止等を判断する基準を予め決めておき、誰が、どのように対応を判断するかを明確にすること。

	そして、その他突発的な災害が発生することも想定して対策を講じること。
検証会議の判断	実行委員会は各対策について、主に次の対策を講じた。 ◆露店対策 露店は御霊公園のみ出店しており、由良川河川敷での出店はなかった。 ◆雑踏対策 事前に危険個所の点検を行い、関係機関等と現場で調整を重ね、安全対策を講じた。 ◆交通対策 警察署等の各関係機関と事前に協議を行い、交通混雑を抑制するために必要な道路使用許可等を受け、マイカーでの来場を避けるよう呼びかけるなど、必要な対策を講じた。 ◆救護対策 救護ブースに医師、看護師等を配置するなど、万が一の事故等に備えた。 ◆火災対策 消防署等の各関係機関に必要な届出を行ったほか、事前に協議を行い、打ち揚げ現場での草刈りや散水のほか、露店出店者に対して、事前に安全指導を実施した。 ◆自然災害等の対策 国土交通省等の各関係機関と事前に協議を行い、指導を踏まえて、降雨や増水、強風時などの中止等を判断する基準を予め決めていた。また、南海トラフ地震臨時情報が発表されたことを受けて、運営本部で対応を確認した。

(4) 実行委員会への確認事項の照会とあわせ、花火大会の開催結果報告を書面にて受けた。

①来場者数

12,000 人 (延べ人数)

<内訳>

有料観覧席 3,000 人

御霊公園 4,000 人

広小路周辺 5,000 人

②臨時駐車場の利用台数

197 台

③チケットの販売数（販売率）

シート：164/164（100%）

階段席：969/975（99.4%）

④露店

営業時間：14時00分～19時40分

ブース数：15ブース（13店舗）

総売り上げ：347万円

1店舗平均：約27万円

⑤アンケート

回答数：461

3 検証結果

現地検証、実行委員会等への確認事項の照会結果などを踏まえて、花火大会が安心安全に開催できていたのか、という点について議論を行った。

結論：事故なく花火大会が終了したことは評価するが、改善を要する点もある

上記のように判断した理由

1 雑踏事故などなく花火大会が終了した

2 現地検証結果において、「C」評価（要改善）があり、「B」評価であっても改善点が指摘されている。

花火大会当日、全委員が出席して現地にて検証を行った。チェック箇所は、各ゲート、堤防天端、広小路通り、御霊公園、有料観覧席の5箇所。チェック箇所ごとに設定した項目について、「A（推奨）・B（標準）・C（要改善）」の3段階で評価し、全体の評価付けを行った。結果は次のとおり。

チェック箇所	各ゲート
全体評価	B（標準）
総評	ゲートを4箇所設けて、シート席ごとに入退場のゲートを指定したことにより、混乱なくスムーズな対応ができていた。花火大会が終了し、観覧者が一斉に移動する退場時には、ブロックごとにスタッフが案内して移動を促したことで、雑踏事故につながるような危険は生じなかった。会場アナウンスが聞き取りやすくて的確であったことは評価する意見がある一方、ゲート1、4では音量が小さくアナウンスが聞こえにくかったとの指摘があった。 また、場所によっては全体のタイムスケジュールを把握していないゲート責任者がいたことは課題であり、改善する必要がある。
個別意見	◆良かった点として、主に ・聞き取りやすいアナウンスだった ・スタッフがポイントごとに配置され、安全対策が行われていた ・ブロックごとの退場を丁寧にされていた ◆悪かった点として、主に ・ゲート責任者はシナリオを把握していない様子だった ・ロープがたるんでいて、意味がないところがあった ・順次退出のアナウンスがされていたが、間が空きすぎているなどの意見が出された。

チェック箇所	堤防天端
全体評価	B（標準）
総評	入場時は観覧者の来場時間に差があったため混雑はなく、チケットに関してのトラブルは見受けられなかった。しかし、チケットチェックの有無がわかりにくく、そのまま入れそうな雰囲気もあったとの指摘があり、改善が必要である。また、委員からは、堤防天端の指定された場所に警備員などを配置することも必要だが、巡回する警備員もいた方が良いのではないかと意見があった。
個別意見	◆良かった点として、主に ・入場は時間差があったので、混雑はなかった ・チケットに関してのトラブルは見受けられなかった ◆悪かった点として、主に ・階段にはもともと警備員がいなかったのではないかと。警備員とスタッフの見分けがつかなかった ・チケットチェックの有無がわかりにくい。そのまま入れそうな雰囲気もあった などの意見が出された。

チェック箇所	広小路通り
全体評価	B（標準）
総評	広小路通りから堤防天端に向かう交差点でチケットの確認を行い、混雑を防ぐことができている、交通整理は特に問題がなかったと考える。 しかし、交差点付近は有料観覧者以外の多数の観覧者であふれており、その点の対策は必要である。今回の花火大会では、交差点をバリケードで囲い、緊急車両の走行ルートを確認することができていた。安心安全な花火大会の開催のために、緊急事態に備えることは主催者として当然のことであることから、引き続き対応を求める。
個別意見	◆良かった点として、主に ・交差点でチケットの確認はされていて、混雑は防げたと思う ・浅草屋前に行列ができていた。交通規制中は厚生会館前まで行列ができていたが、交通規制の解除前に警備員の指導によるものか分からないが、行列がきちんと広小路側方向に行くようになり、交通の妨げにならないようになっていた ◆悪かった点として、主に ・緊急車両用に交差点を確認されていたが、そのまわりを通る道が

	狭かったと思う ・一部店舗敷地内での着座と飲食が見られた。道路縁石での着座は混雑すると危険を伴うと思う などの意見が出された。
--	---

チェック箇所	御霊公園
全体評価	C (要改善)
総評	露店が出店していた御霊公園は、各店舗に長い列ができており、公園内は身動きがとれないほど多くの人が密集していた。実行委員会の報告書によると、露店出店者から、「露店前のスペースが狭くて行列が密になっていた。会計と受取りの2列になっている露店もあり、列が長くなると、どの列がどの店の何の列なのかわかりづらく、並びなおしている人もいた。事故防止や混雑緩和の対策として、行列整理のスタッフを増員する、露店と露店の間隔を空ける、打ち上げ中も営業して営業時間を長くするなどを検討してはどうか」と具体的な意見が寄せられている。 店舗数を15店舗に限定したことが良かったのか、公園内中央に集中した露店の配置方法が良かったのかなど、露店については、実行委員会だけで決定するのではなく、露店出店者や関係機関とも事前に十分な調整を行うことを求める。
個別意見	◆良かった点として、主に ・全時間帯を通して、ゴミは分別されていて、きちんと捨てられていた ◆悪かった点として、主に ・ゴミは散乱していなかったのが、適切な配置数と思われるが、人が多くてゴミ箱がどこにあるのかわからない状況であった ・両側に露店を配置して密集を防ぐほうがいいのか、人の導線など検討が必要である。警備員、スタッフの配置人員が少ないのか、また、本来の業務をしていないのか、できなかったのか検証が必要だと思う などの意見が出された。 ◆その他のチェック項目として、 ・御霊公園内の遊具の夜間利用は事故の要因となることから規制をかけることが大切だと思う との意見が出された。

チェック箇所	有料観覧席
全体評価	B (標準)
総評	照明とトイレについてチェックを行った。照明については、打ち揚げ開始時には暗かったが、席には明かりがあり、特に問題はなかった。ゲート1へ向かう通りの暗い場所にスタッフが立ち、ライトアップを行っていた。また、足元に注意する旨のアナウンスや誘導があったことは良かった点である。 トイレについては、照明が設置されておらず観覧者が困っていたこと、手洗い場がなかったことは問題であり、改善が必要である。
個別意見	◆良かった点として、主に ・ゲート4付近は長蛇の列になるようなことはなかった ・ゲート1へ向かう通りの暗い所にスタッフが立ち、ライトアップされていた ◆悪かった点として、主に ・トイレ内に照明がなく困られていた。携帯のライトで光らせながら使用されており、スタッフの方に確認しても対応がなかった ・堤防沿いにも照明を置いた方が足元を照らすことができると思った などの意見が出された。

チェック箇所	その他
チェック項目	当日気付いた点
総評	事前に設定していたチェック項目以外に、当日委員が気付いた点を挙げた。有料観覧席にゴミがなくマナーが良かったこと、チケット購入者の弁当引き換え店舗が一か所しかなかったため、行列ができ、通行の妨げになっていたことなどの意見が出された。 また、家族連れ、特にお子様連れが多く見られたことから、有料観覧席に「子育て支援席」のような席を設けて、入退場がしやすい場所を優先的に配分し、環境を整えるといった提案があった。
個別意見	◆良かった点として、主に ・堤防に観客を入れないことで、有料観覧席と有料観覧席以外の線引きがきれいにできた。 ・有料観覧席にはゴミが散乱していなかったのもマナーがとてよかったと感じた。 ・堤防ではボランティアスタッフ、警察官の存在もトラブル回避に役立ったと思う。

	◆悪かった点として、主に ・チケット購入者の弁当引き換え店舗が一か所しかなかったため、行列ができ、通行の妨げになっていた。 ・ゲートのチケットのチェックをする受付にライトが準備していなかったようで急遽調達したようなものでしのいでいた。 ◆その他、所見として ・来年度から有料観覧席に加え、チケットなし観客席が増加した場合、その観客をどこへ誘導するかが問題となると考える。 ・家族連れ、特にお子様連れが多くみられた。ベビーカーを引いた人も多く見受けられたので、来年度は有料観覧席に「子育て支援席」みたいな席を設けて、入退場がしやすい場所を優先的に配分し、環境を整えることを提案する。 などの意見が出された。
--	---

※現地検証の詳細については、参考資料を参照

総括

各ゲート、堤防天端、広小路通り、有料観覧席は「B」評価、露店が出店していた御霊公園は「C」評価という結果になった。

平成 25 年の事故当時と主催者が違うとはいえ、同じ場所である由良川河川敷において 11 年ぶりに開催された花火大会が事故なく終了したことは、評価すべき点である。

指定エリアごとに退場を促し、観覧者が滞留することなくスムーズに移動したこと、雑踏事故防止の一環で有料観覧者以外の堤防天端への立ち入りを制限したことなど、安心安全を最優先にして講じていた対策は、今後の花火大会においても当然継続することを求める。

「B」評価を付けた各ゲート、堤防天端、広小路通り、有料観覧席については、良かった点もあったが、悪かった点については改善の余地があるため、再度検討することを求める。

「C」評価を付けた御霊公園については、多くの委員から、身動きがとれないほど多くの人が密集していたことに対して問題視する意見があったことから、露店の出店数、配置方法などについて、実行委員会だけで決定するのではなく、露店出店者や関係機関とも事前に十分な調整を行うことを求める。

それらが改善されるのであれば、アンケートでは一層のにぎわいを求める声があることなどを踏まえ、今後の花火大会の規模を段階的に拡大することを容認する。

ただし、安心安全な花火大会を開催することが大前提であり、引き続き、安全確保体制の強化、万一事故が起こった場合の補償体制の確保は強く求める。

そのうえで、今後の花火大会のあり方について、次のとおり提案する。

4 今後の花火大会のあり方について

(1) 花火大会の規模について

(2) 市の関わり方について

(3) 有料観覧席について

(4) 露店について

(5) 堤防天端のチケット所有者以外の立ち入りについて

(6) 広小路通りから堤防天端に向かう交差点での雑踏状況について

お わ り に

参 考 資 料

- ・ 現地検証結果
- ・ 現場写真
- ・ 経済波及効果分析報告書
- ・ 実行委員会への確認事項の回答
- ・ 福知山市への確認事項の回答
- ・ 関係機関への確認事項の回答